

久留米市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進協議会 平成29年度 第5回会議 会議要旨

日時	平成29年12月20日(水) 18:30~19:40
場所	久留米医師会館 教室1
出席者	<p>委員：大治委員、中島委員、岡委員、杉本委員、小玉委員、大久保委員、柴田委員、滝口委員、重永委員、西田委員、濱本委員、永江委員、吉永委員、宮本委員、縄崎委員、岩坂委員、永野委員、堀委員、西村委員、下川委員、鐘ヶ江委員、佐藤委員、三原委員</p> <p>事務局：・長寿支援課 堤課長、山田補佐、溝江補佐、出利葉補佐、谷本 ・介護保険課 柴尾課長、高山補佐、木下 ・健康福祉部総務 池田主幹、三浦主査</p>
欠席者	委員：今里委員、宮崎委員
傍聴者	3名
議事次第	<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 報告事項 (1) 今後のスケジュールについて</p> <p>4 協議事項 (1) 介護保険事業の運営状況等について (2) 第7期介護保険料額の算定について</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>
議 事	
1 開会	
2 会長挨拶	(会長挨拶)
3 報告事項	<p>(1) 「今後のスケジュールについて」事務局より説明を求める。</p> <p>(事務局より資料1に基づき説明)</p> <p><会長> スケジュールについて、何かご意見等ないか。なければ、議事を進める。協議事項(1) 介護保険事業の運営状況について事務局から説明をお願いする。</p>
4 協議事項	<p>(1) 「介護保険事業の運営状況等について」事務局より説明を求める。</p> <p>(事務局より資料2に基づき説明)</p> <p><会長> 介護保険事業の運営状況について、主にデータを中心に説明があった。まず、1番から4番までで確認等ある方は挙手をお願いしたい。</p> <p><委員> 3. 年齢階層別の認定者の状況で、65~69歳のところを見ると、介護3以上が85~89歳ぐらいと同じぐらいの割合で多くなっているが、その分析について聞きたい。もう1点、ちまたでは8050問題、7040問題と言われているが、これを見ても80歳以上から急激に認定率が高くなっている。子どもが5</p>

	<p>0歳ぐらいになると介護になるということで、介護離職という問題がここから見えると思うが、その点についてのデータがあれば教えていただきたい。</p>
<事務局>	<p>年齢階層別の要介護度の分布については、平成29年9月末の認定者数で出している。なぜ、このような割合になっているのかという分析まではできていない。</p>
<事務局>	<p>たしかに、80代の方を50代が、70代の方を40代が介護するという実態がある。実際に75歳以上人口について、筑後地域でも医療構想の中では伸びていくと推測されている。介護離職については、国のほうも問題として、施設整備、あるいは在宅という形での受け皿を考えているが、実際にどれぐらいの方が介護離職されているかは、明確な数字は出ていない。今後は、在宅サービスと施設サービスを合わせて整備しながら、共生型サービスという形で地域の力を深め、全体で高齢者を支えるまちづくりを進めていきたいと考えている。</p>
<会長>	<p>他にご質問はないか。次、5番から7番でご質問、コメント等ある方は挙手をお願いしたい。</p>
<委員>	<p>6ページ、夜間対応型訪問介護は事業数が0だが、それを補完する形で定期巡回・随時対応型訪問介護看護があるのか。夜間対応型は久留米では必要ないということか。7ページ、介護予防日常生活支援総合事業がはじまったが、介護保険の会計は膨張している。総合事業に移ったのは費用を抑えるためではないのか。</p>
<事務局>	<p>夜間対応型については、今のところ事業所がない。また、定期巡回という新しいサービスが出てきており、夜間対応型を包括、あるいは補完する形でサービスの提供ができていると考えている。総合事業がはじまったが、給付費が削減されていないという点について、総合事業自体は経費を節減するためのものではない。介護予防、地域の力、ボランティアの力を借りながら、結果的に給付費、サービス費が抑えられる、または、総合事業を継続することで将来的に介護度が維持、回復することで総合的に給付費が抑えられることはあるかと思う。</p>
<委員>	<p>サービス事業所の状況について、通所介護が第5期と比べると半分ぐらいになっている。この数で大丈夫なのか。もっと減るのではないかと心配している。</p>
<事務局>	<p>通所介護の減少について、第5期で114あった事業所が第6期で61となっているが、第6期に小規模のデイサービス事業所が地域密着型通所介護に移行したために事業所数としては61と47に分かれたものである。</p>
<会長>	<p>他に確認事項はないか。最後に8番、9番について何かあるか。</p>
<委員>	<p>財政が出ているが、久留米市にはどのぐらい未納者がいるのか。これは、未納者を入れた数字か。</p>
<事務局>	<p>未納分については、収納率を反映したところで保険料を設定する必要が出てくる。28年度は98.58%だが、29年度ではそれをやや上回る予想となっている。第7期計画では、保険料の増額が予想されているため、予定収納率については精査したいと考えている。</p>

<p><委員></p>	<p>保険給付金の財源構成について、下の表を見ると国庫負担が20%、県負担は12.5%となっているが、(1)の表を見ると、その他で20%、施設で15%など、国や県のパーセントが違うのはなぜか。</p>
<p><事務局></p>	<p>下の円グラフはわかりやすいように一般的な形で書いている。詳細に言うと施設系のサービスは国の負担が15%、施設系以外の在宅サービス等は20%という形で、より細かくパーセンテージが変わってくる。(1)の表は少し詳しく書いている。</p>
<p><会長></p>	<p>資料2の運営状況について、是非、聞いておきたいという方は挙手をお願いしたい。</p>
<p><委員></p>	<p>サービス事業所の状況について、施設入所が何人待ちなどあると聞くと、充足率等がこれでは見えない。</p>
<p><事務局></p>	<p>施設待機者の状況については、今年の7月、市内の各施設に調査をしている。県においても待機者解消のための計算式が示されているため、市が行った待機者の状況を中心に県の計算式にあてはめ、実際に施設整備を行うことで対応していく推計値を算出し、次回の協議会にて詳しく説明したいと考えている。</p>
<p><会長></p>	<p>意見が出尽くしたようなので、議事を進める。協議事項(2)第7期介護保険料額の算定について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>(2)「第7期介護保険料額の算定について」事務局より説明を求める。</p> <p>(事務局より資料3に基づき説明)</p>
<p><委員></p>	<p>資料2の9ページで収納率が98.58%という話があったが、新しい被保険者の14段階に分けると、未収が多い層はどの辺りになるのか。わかれば教えてください。</p>
<p><事務局></p>	<p>データを持ち合わせていない。</p>
<p><会長></p>	<p>収納率がどこまで維持できるかという大事なところだと思う。</p>
<p><事務局></p>	<p>正確な数字はわからないが、おおまかなイメージでは、14段階の真ん中より所得が少ない方のほうが未納も多い状況ではないかと考えている。未納者に対する対策については、支払いができるのに支払っていない方については、収納させていただく形を強化する。ただ、支払えない理由がある方も増えている。そういった方には生活支援の対策も含めながら、対応している状況。</p>
<p><委員></p>	<p>これがきついのならば問題があるかと思うが、よく考えられているかと思う。</p>
<p><会長></p>	<p>14段階の推計値で、予算の見込みは立つのか。交付金の見込みがどの程度あるかわからないが、プラス会計のことを見込んで予算は組めそうか。</p>
<p><事務局></p>	<p>収納率を確保すると同時に、介護サービスの総給付費に対する第1号被保険者の負担割合の逆算額から介護保険料を設定することとなる。また、基金の取崩額も保険料軽減になる。実際は国から示される介護報酬の金額を反映させたあとに総サービス額が出てくるため、その後、逆算して保険料を設定すると</p>

	<p>いう作業になってくる。</p> <p><会長> 介護予防がうまく進めば安くすむという内容。他に何かあるか。</p> <p><委員> 準備基金について、第6期がはじまった頃はかなりの額があったように思うが、今は14億ぐらい。これがなくなったときには介護保険料が上がるようなことがあるのか。</p> <p><事務局> 準備基金については、第6期の時点ではもう少し少なかった。10億前後使って保険料を安くしようと考えていたが、結果的に報酬のマイナス改定等の影響もあり、多少増えている。7期でも保険料を下げるために活用したいと考えている。</p> <p><会長> 貯めても仕方ないので。他にないか。算定について問題なければ挙手をお願いしたい。</p> <p>(一同挙手)</p> <p><会長> 挙手多数でお認めいただいた。以上で本日の議題は終了したが、その他について事務局から何かあるか。</p>
5 その他	<p>「久留米市議会（教育民生常任委員会）報告時の主な意見について」事務局より説明を求める。</p> <p>(事務局より追加資料に基づき説明)</p> <p><事務局> 謝金を受け取られていない方は、会議終了にお渡しする。「今後のスケジュールについて」でも申し上げたが、第6回会議は1月15日（月）に開催させていただく予定。よろしくお願ひしたい。</p>
6 閉会	<p>本日は円滑な議事進行にご協力いただき、ありがたく思う。これをもって久留米市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進協議会平成29年度第5回会議を閉会とする。</p>